

# かさまりアージュ

## 【いばらきEYEかご】

### サポートセンター

男女に出会いの場を提供して結婚を支援しようと、平成18年6月に県と県労働者福祉協議会によって開設されたいばらき出会いサポートセンター。

笠間市内では、今年2月末現在で男性65人女性46人計111人がサポートセンターに会員登録しており、県内でも5番目に多い登録者数となっています。

また市も出会い支援としてサポートセンター登録費用の2分の1以内を助成しています。イベントではサポートセンターとの共催で出会いパーティも実施し、今年も2回ほど予定しています。入会等のお問合せは、出会いサポートセンターへ

#### 問合せ

〒310-0011

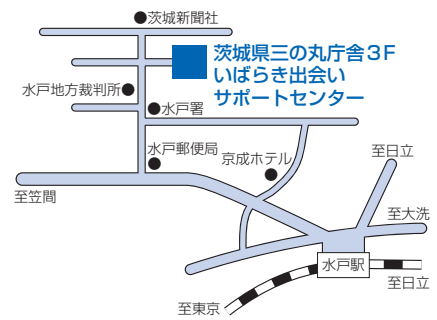
水戸市三の丸1-5-38

(茨城県三の丸庁舎3階)

☎ 029-2224-8888

FAX 029-2224-8921

### いばらき出会いサポートセンター



#### 受付時間

午前9時～午後5時(年末年始・夏休み(8月13日～15日)と祝日を除く)



出会いが少ない方は…カルチャースクールやスポーツクラブ、パーティなどのイベントに積極的に参加してアクションをおこしましょう！

### 新婚カップル紹介募集中です！

#### 問合せ

市民活動課(内線134)



# 選挙のしくみ

## 「忘れられた選挙制度改革」

衆議院議員選挙に、小選挙区制と比例代表制を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」が導入されて16年になり、過去5回の衆議院選挙が行われてきた。

この選挙制度の実施に伴い、いくつかの問題点が指摘されました。①小選挙区で敗れても比例区での復活当選が果たせる②比例区制度が死票を少なくするために導入されたが、本当に必要なのか?③議員定数が多いのではないのか?④1票の格差は?などの問題が浮かび上がってきました。そして、平成の大合併により1つの市に2つの選挙区が存在する(笠間市は1区と2区)という新たな問題もでてきました。しかし、今もって何一つ解決されていません。一方で中選挙区制度復活の意見も多く聞かれます。今年の夏には参議院選挙が行われる予定です。各政党には、選挙制度改革をマニフェストに明示し、有権者に示してもらいたいと思います。特に定数の削減、復活当選の見直しを行うべきであります。



かさま観光大使と

地方自治体は、市町村合併という大改革を行い、職員や議員削減、給与削減、事業の見直しを行いながら行政サービスの維持推進を図っています。

国においては、政権が変わり、さまざまな見直しを行っていますが、まずは、自分の身分に直接係わる選挙制度の見直しを行い、身を削り国民に改革の意思を示すことが必要ではないでしょうか。

我々地方自治体も、自己責任の下、常に改革を行い行政サービスの推進を行ってまいります。

笠間市長

山口伸樹